



殖 蕃 の 馬 耕

【二七】

滿洲の農耕は殆んど凡てが馬耕を以つてするので馬はなくてはならぬものであるから移民圏でも澤山の滿洲馬を飼ひ、之に内地馬を交配して改良を行つて居る。



牧 放 の 牛



牧 放 の 羊 緬

【二六】

移住地には草野原が多いので放牧に適して居る。



乳 搾

移民團では乳牛を飼ひ其の乳は幼児或は病人に飲ませる他團員にも配り健康の増進を計つてゐる。

【二九】



羊 古 蒙 の 場 畜 種

移民團では國策に順應して綿羊を大量飼養し、蒙古羊に内地其他から入れたコリデル種を交配して羊毛の改良を行つて居る。

【二八】



屋家人個の中築建

移民團では農閑期を利用して團員の手で滿洲移民衛  
生委員會或は滿拓公社の指導に基き個人家屋の建築  
をして居る。

【三二】



き 引 鋸



山 の 材 築 建

運ばれた材木は移民團員の  
手或は滿人達に依つて製材  
され建築用に用ひる。  
(滿洲式の製材法)

【三〇】



新 様 式 の 個 人 家 屋

従来個人家屋は満人家屋を改良したものが多かつたが近頃では煉瓦造りの堂々たるものが多くなり又手不足を補ふ爲に満洲拓植公社建設班の力を借りて家屋を建てることもある。

【三三】



個 人 家 屋 の 一 例

土壁を以て造られた個人家屋。

【三二】



除 掃 プ ン ラ

移住地では未だ電燈設備が無い處が多いのでランプ  
を用ひて居る、

【三五】



内 室

家屋は暖房装置として従來オンドル温突を多く用ひられたが  
近頃はベーチカも使用され、席子(アンペラ)や薄縁ツミベリ  
敷から畳へと變化して來たが温突には薄い物を敷く  
方が温い。

【三四】



冬の戶外風景

冬は春の農耕準備に農具や蓆を作る。満洲の冬は三寒四温と云つて三日位寒い日が續くと次に四日位暖い日が續くが風の無い暖い日には戶外で充分に働いてゐる。

【三七】



製<sup>カ</sup> 扱<sup>カ</sup>



犁<sup>ジケン</sup> 丈<sup>ジケン</sup>

農業の閑な冬の間には山から伐つて來た木材で簡単な農具は木工班員が作り耕作に用ひてゐる。

【三六】



室 温

軒下等を利用して温室を造り種々の蔬菜や花卉を作る。

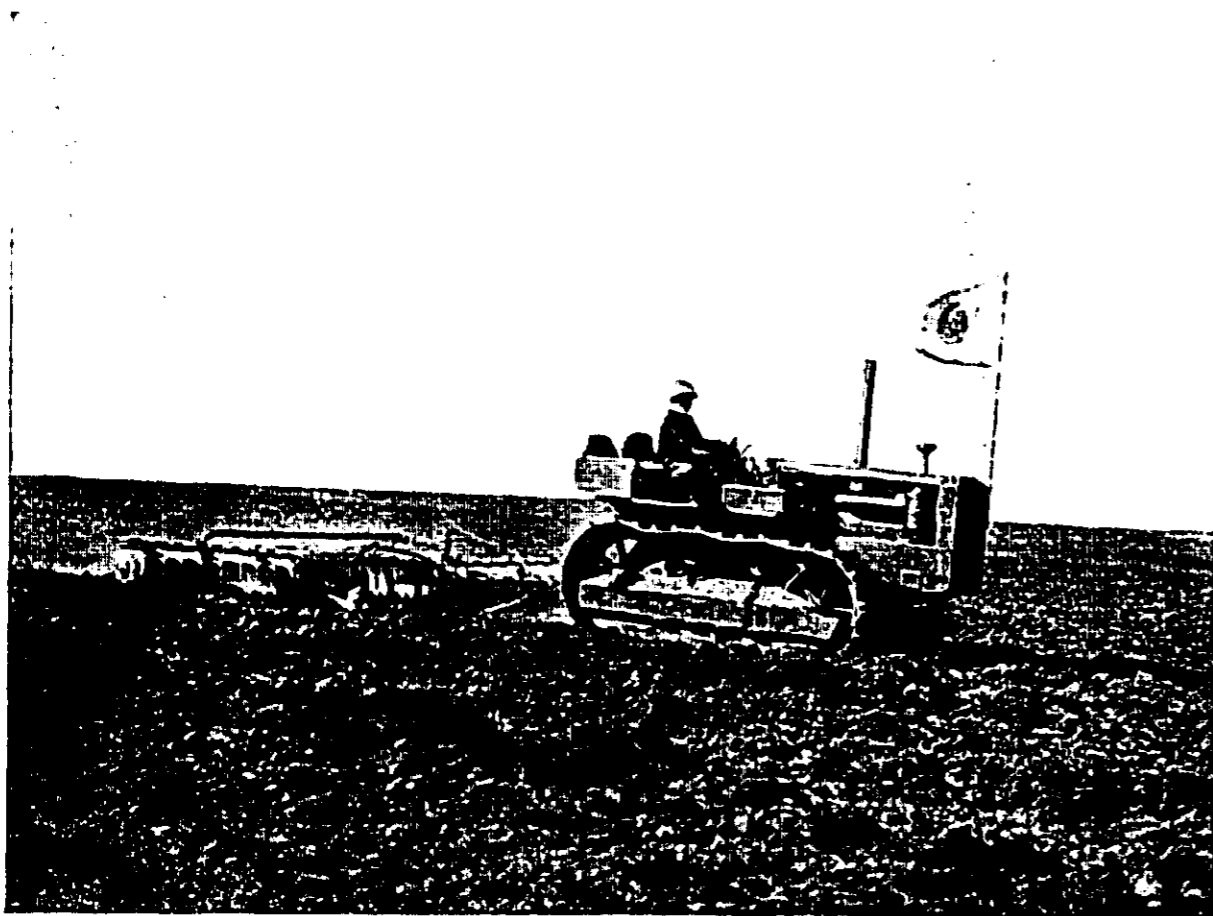
【三九】



り 作 床 温

春先の解氷期が済み土地の安定を見れば直に農耕に取掛るが先づ第一に温床を作つて蔬菜其他の種を撒く。

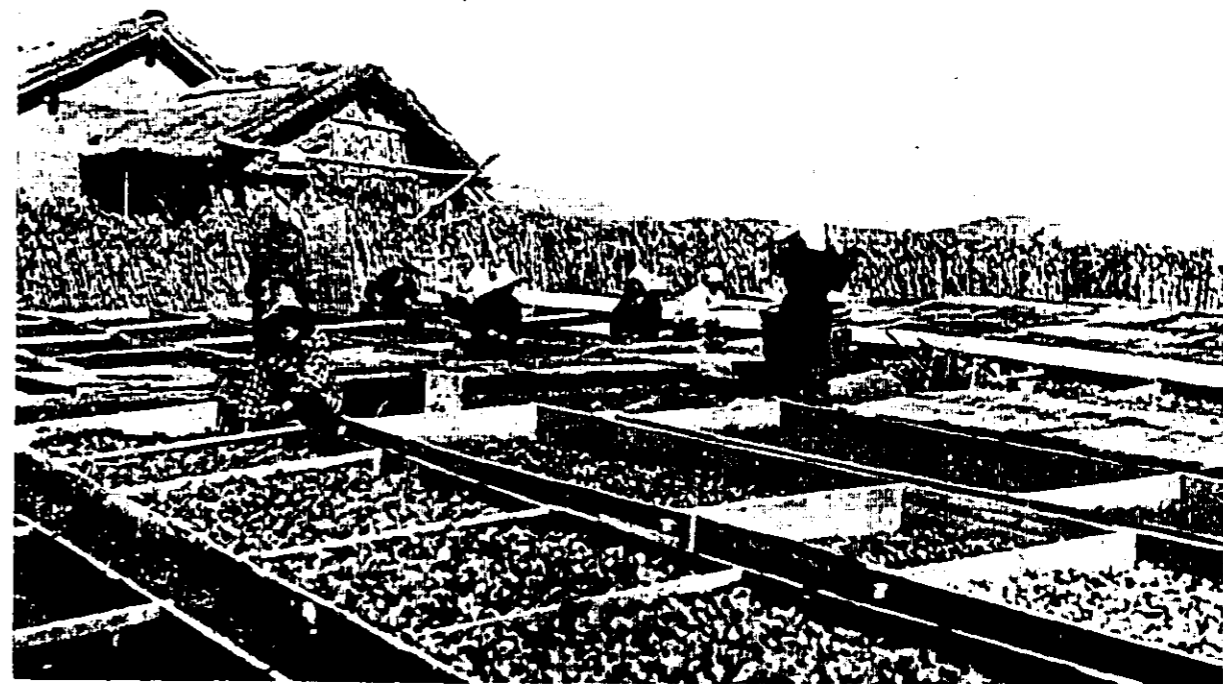
【三八】



ト ラ ク タ ー 開 墾

【四一】

畑の開墾は従来馬耕を以つて行つて居たが能率の關係から現在ではトラクターを以て開墾をしてゐる。



苗 床

【四〇】

温床に播かれた蔬菜類は苗床に移植され適當の時期を見て圃場に移される。





大豆の播種

麦類の播種の終つた五月初旬には大豆の播種に取掛る、先づ犁丈<sup>リウヂヤン</sup>を以て耕起した後から大豆を播き、鎮壓をする。

【四三】



耕 耘

春が訪づれると先づ馬で畦を作り播種をする、其の主として用ふる農具は犁丈<sup>リウヂヤン</sup>である。

【四二】



引 間

【四五】

撒播した作物は發芽後或は移植後夏に入つてから間引を行つて作物の健全な發育を促す。



壓 鎮

【四四】

穀物を播種した後とか、或は畑を耕耘した後に木或は石のローラー様のものを馬に曳かせて畑土を鎮壓し種子の飛散や乾燥等を防ぐ。



大豆の除草中耕

大豆も亦雑草に弱いので除草と中耕とを一緒に行ふ必要がある。普通三回乃至四回。

【四七】



小麦の除草中耕

満洲の畑では夏になると気温と水分の関係で作物の成育が早い雑草の成長も亦早いので除草には充分に力を入れる必要がある。

【四六】



灌 溉 用 水 路

移住地では内地同様に水さへ充分なら立派に水稻が出来るので一里或は二里も先から灌漑用水を引いて来て水田を造る。

【四九】



蔬 菜 の 除 草 中 耕

蔬菜の除草も鋤頭チエウトウと云ふ滿洲農具で行つてゐる、夏の仕事は殆んど除草に終始して居る。

【四八】



大 麥

麥類は滿洲に適するので移住地では大麥を作つて食糧や飼料に用ひて居る。

【五一】



水 稻 の 收 穫

水稻は無肥料で撒播をし、僅かの除草だけで反當二石以上の米がとれる。

反當延勞力 八―九人

(内地 二〇―三三人)

【五〇】



粟

【五三】

粟も無肥料でどんく採れる。



小 麥 の 收 穫

【五二】

北滿の特産物である小麦は各移住地によく出来るので移民團では之を製粉してゐる。殊に滿洲小麦はグルーテンの含有量が多いのでパン製造に好適である。



山の小麦

收穫した穀物等は畑から馬車で部落に運搬し之を山の様に積んで置き段々と脱穀を行ふ。

【五五】



高粱

滿洲の特産物の高粱もよく出来る。移民團では主に馬糧に用ひて居るが食糧にもなる。稗は建築材料や燃料其他に使用して居る。

【五四】



日 本 式 脱 穀

【五七】

移民團の建設が進むに伴つて農業も進歩し、脱穀方法は従來の滿洲式から現在内地で行つて居る様な機械を用ひる日本式に轉じつゝある。



滿 洲 式 脱 穀

【五六】

山と積れた穀物は部落共同で脱穀を行ふ、寫眞は滿洲式脱穀法であるが、我移民團でも屢々見受ける風景である、滿洲では秋冬の間は全く乾燥期なのでこんな戶外作業が安心して行はれるのである。





搬 運 の 物 穫 收

【五九】  
麻袋に詰められた穀物は部落から本部の農業倉庫へとトラックに依つて運搬される。



び 喜 の 穫 收

【五八】  
脱穀調整した穀物は麻袋に詰めて収納する。



瓜 越 な 事 見

【六一】

越瓜も大きなものがどん／＼と出来、生で或は漬物にして食べて居る。



穫 收 の 子 茄

【六〇】

茄子も移住地で充分によく出来る。殊に煮茄子には大きなのがある。



見事な蔬菜類



菜菔、葱、甘藍（キャベツ）、午莠、胡蘿蔔、南瓜、

【六三】

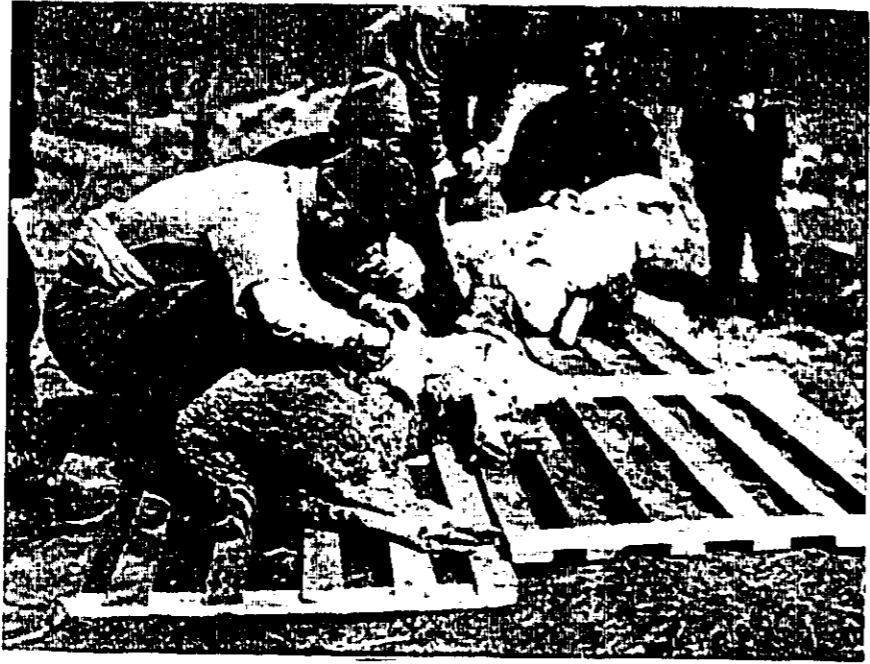
西瓜其の他内地で出来る蔬菜等なれば殆んど全部のものが出来此等の蔬菜類は翌春迄貯藏室を作つて貯へられる。



西瓜の收穫

【六一】

西瓜も見事なものが出来、夏の暑い時焔で食べる味は又格別である。



毛 剪



羊 毛 洗 び

五月頃には綿羊の毛を剪り  
取る剪り取つたものはよく  
洗つて脂肪や汚れを除きよ  
く乾して保存する。

【六五】



煙 草

移住地では主として黄色種のイエロー、オロノコ種  
等を栽培し、その成績は素晴らしき。

【六四】